

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小倉都心地区(第4期)

令和6年12月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	人/日	153,500 (H29年度)	159,400 (R5年度)	138,800 (R5年度)	確定 ● 見込み	△	あり — なし —	—	R 年 月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	令和元年には目標を達成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度に歩行者通行量が減少した。だが、近年の歩行者通行量は回復傾向にあることから、賑わい創出を目的とした各種事業の効果はあったものと考えられる。
指標2	小倉都心部における観光客数	万人/年	583.3 (H29年度)	601.3 (R5年度)	512.2 (推計値)	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし ●	539.2 (R5年度)	R6年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	令和元年までは外国人をはじめとした観光客数は大幅に増加傾向にあり目標も達成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度激減。その後再び増加傾向にはあり、推計よりも伸び率は上回っていたが、コロナ禍以前の推移までは回復をしていない。
指標3	小倉都心部の人口	人	34,392 (H29年度)	37,392 (R5年度)	36,265 (R5年度)	確定 ● 見込み	△	あり — なし —	—	R 年 月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	生活の拠点となる小倉駅の設備改修など各種事業の効果もあり、利便性のよい小倉都心地区へのマンションの建設需要が高まり、小倉都心地区の居住人口増加にも繋がったと考えられる。着実に増加傾向ではあったが、目標数値には至らなかった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	夜間景観整備エリアを中心とした夜間の歩行者通行量	人/日	6,423 (H29年度)	/	6,863 (R5年度)	確定 ● 見込み	/	/	—	R 年 月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、夜間の交流人口が落ち込んでいた時期もあったが、R5年度には従前値より多くの歩行者通行量が確認できたことにより、賑わいが回復傾向にあり夜間景観などの効果が現れていると考えられる。
その他の数値指標2	小倉都心部における地価公示価格	円	334,667 (H30年度)	/	376,556 (R5年)	確定 ● 見込み	/	/	—	R 年 月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地価公示価格は、平成30年から令和5年において上昇傾向にあり、質の高い都市環境の形成や拠点の魅力向上により、土地の需要が高まっていると考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な交通モードによるアクセス性向上 安全安心快適に暮らせるまちづくり まちづくりの主役である市民・地域団体・企業等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 高次の都市機能と質の高い都市環境の形成や自由に・快適に働ける場所の創出や企業進出を促進する環境を整備するため、生活基盤となるインフラの整備や民間開発を適切に誘導し空地整備を実施 公民の活動の場となる拠点の整備や公民が連携したにぎわいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業や優良建築物等整備事業等に着手し、また公民が連携して課題解決に向けた検討等を確実に進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、計画期間内で事業実施を継続する。
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人をはじめとした観光客の受け入れ体制強化 地域の特性を生かした拠点の魅力磨き・賑わいのあるまちづくり まちづくりの主役である市民・地域団体・企業等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 紫川・勝山公園・旦過市場などポテンシャルの高い空間や観光資源を活かした取り組み、魅力向上 小倉城や集客施設など多くの来訪者が利用しやすく市民との交流の場となるような整備と取り組み 公民が連携した観光客を惹きつけるための取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 小倉城改修工事設計や紫川10橋改修工事、観光面での賑わいづくりイベントの実施等を着実に進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、計画期間内で事業実施を継続する。
<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> アフターコロナにおける国内外から訪れたい魅力あふれるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化から食・エンタメまで小倉の個性・強みを活かした観光コンテンツの開発や拠点づくり アフターコロナにおける観光コンテンツの広域的な魅力・情報発信 ナイトタイムエコノミーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 紫川周辺エリアの賑わいづくりを行い、新しいコンテンツや水辺などの特性を活かした居心地のよい空間の創出により、歩行者通行量の増加が見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市として、ウォークアブルなまちづくりを更に強化する必要があると考え、令和7年度からまちなかウォークアブル推進事業を新たに追加する。引き続き、計画期間内で事業実施を継続する。
	<ul style="list-style-type: none"> 期待感や高揚感、喜びや安らぎが感じられるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの来訪者や市民にとって豊かで居心地のよい空間・拠点づくり 魅力的な空間・環境づくり、賑わい創出イベントなどによるエリア全体の回遊性向上 安全で快適な歩行のための空間、道路再編の検討 高齢化社会に対応できる都市機能の充実 ナイトタイムエコノミーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 憩い空間創出に向けた社会実験を始めたところであり、居心地のよいまちづくりの一步を踏み出したところである。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市として、ウォークアブルなまちづくりを更に強化する必要があると考え、令和7年度からまちなかウォークアブル推進事業を新たに追加する。引き続き、計画期間内で事業実施を継続する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ウォークアブルなまちづくりに関する取り組みの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 小倉中心部における都市デザインの策定 快適で魅力的な歩行空間の創出 公開空地の活用による滞在環境整備 	令和7年～令和10年	まちなかウォークアブル推進事業として実施